

〈作品 005〉

みなと暮らし

～まちを守り続ける^{みなと}水門に触れる～

チーム名：チームみなと

山崎明日香、向田清峻、矢野槇一、
大和泰文、中村純子、矢吹槿



みなと暮らし

みなと

～まちを守り続ける水門に触れる～



Concept

旧三大水門の継承

日本でここにしかない
アーチ型のバイザーゲートを保存し
大阪のまちが守られてきた
歴史を伝える

役目を終えた旧三大水門を
街中で再活用する

新たな水門の提案

旧三大水門のアーチ型デザインを
継承しつつ
平時には門を陸地に引き込む
横引きスライドゲート方式とすることで
まちとの一体感を与える

受け継がれる旧三大水門と
一体となった空間を構成する

旧三大水門の歴史を伝えるとともに
新旧の水門を日常で身近に感じる空間をつくる

History

旧 三大水門の特徴



日本でここにしかない
「バイザーゲート式」の
3基の水門

旧 三大水門の役割



平成30年台風第21号の高潮から
大阪のまちを守る木津川水門

3基の水門がつながって大阪を守る

大阪を守ってきた旧三大水門を後世につなぐ

Site

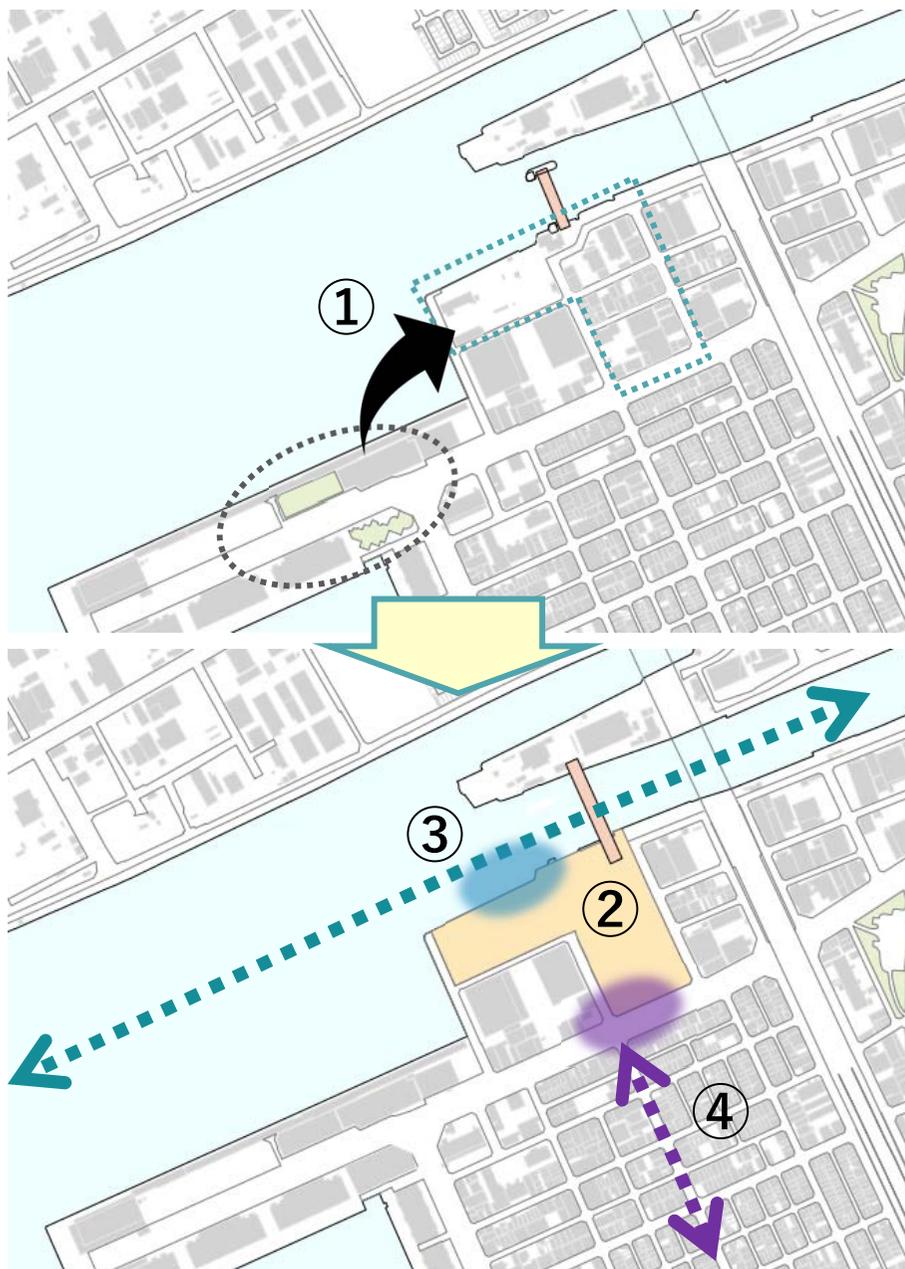
広域

- ・対象地は、中之島から夢洲までの“河川軸”と、高潮・津波への“防災軸”の交点となるエリア
- ・役目を終えた旧三大水門を対象エリアに集約・移設し **“みなと公園”** として整備
- ・「みなと」は、「水門」「港」「水都」の3つの意味
- ・旧三大水門の歴史を継承する場、災害への備えを伝える場、舟運と賑わいの拠点として位置づけ



Site

狭域



①旧三大水門の記憶を継承する公園の整備

区画整理手法により、周辺に点在する公共施設を水門周辺に集約・再構築し、公園用地を創出

②新水門の整備・旧三大水門の移設

役目を終えた旧三大水門を公園敷地に移設
新水門の整備とあわせ、みなと公園を整備

③河川軸との接点

公園に船着き場を整備し、安治川を介して中之島～みなと公園～夢洲までつながる周航ルートによる河川軸との接続

④まち軸（オーク弁天商店街）との接点

弁天町駅から商店街を抜け、公園へとつながる歩行者軸からのアイストップに配慮し、商店街からも水門を感じられる仕掛けづくり
駅や駅前周辺の再開発エリアから訪れる人々の動線を生み、弁天町エリア全体を活性化

Design

新水門 “すべり台”方式（重力式スライドゲート）の提案

- ・引き上げ式ローラーゲートでは、扉体および構造物が巨大となるために、河川軸からの眺望を阻害し、かつ河川区域内に閉じた構造物となってしまうことが懸念
- ・横からのスライドゲートとすることで、河川軸からの眺望を海までつなげるとともに、陸地の公園と水門をつなぎ一体感のある空間とし、水門を身近に体感することができる

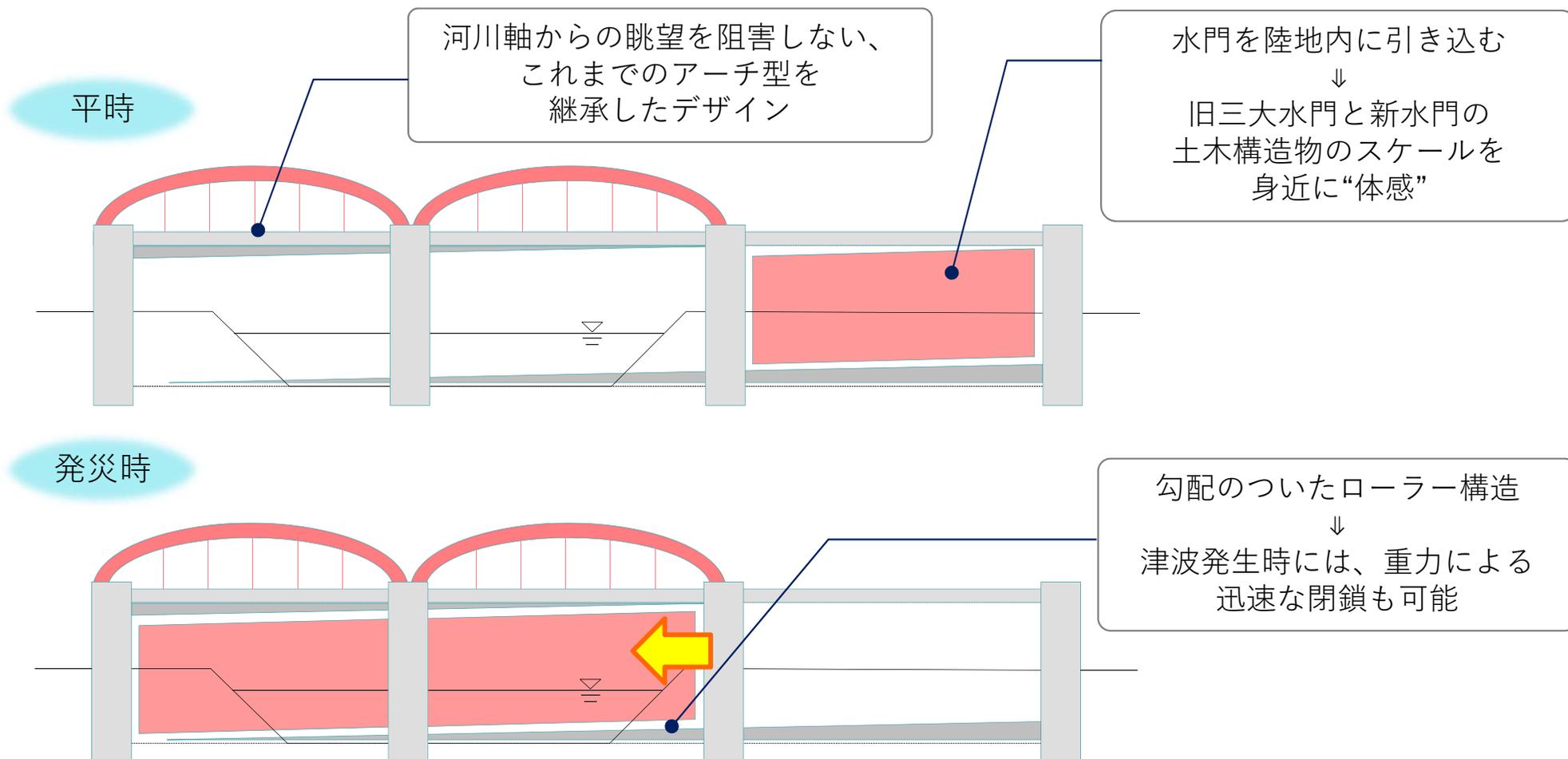


Photo Study

旧三大水門の配置・活用の検討

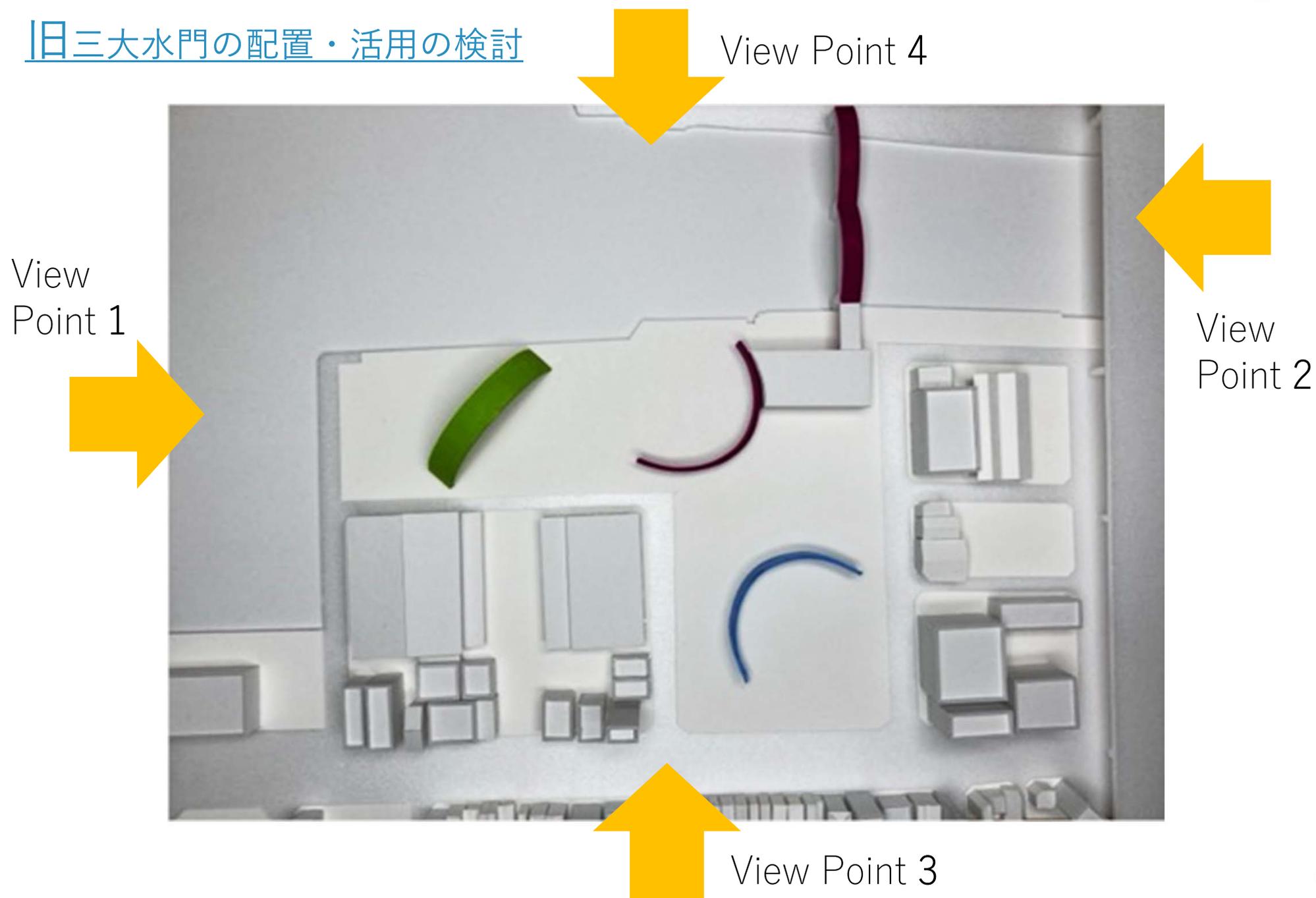


Photo Study

View Point 1

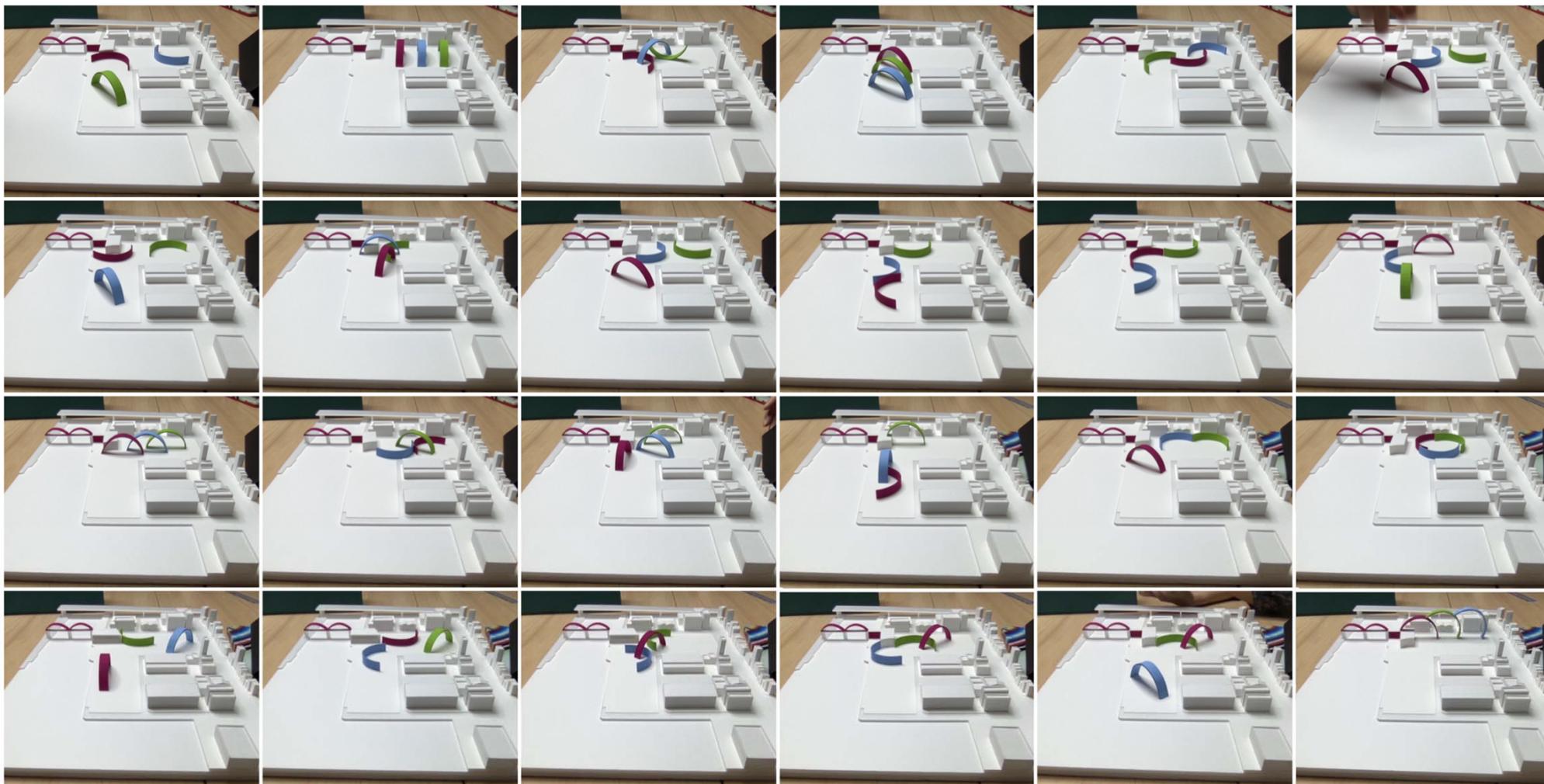


Photo Study

View Point 2

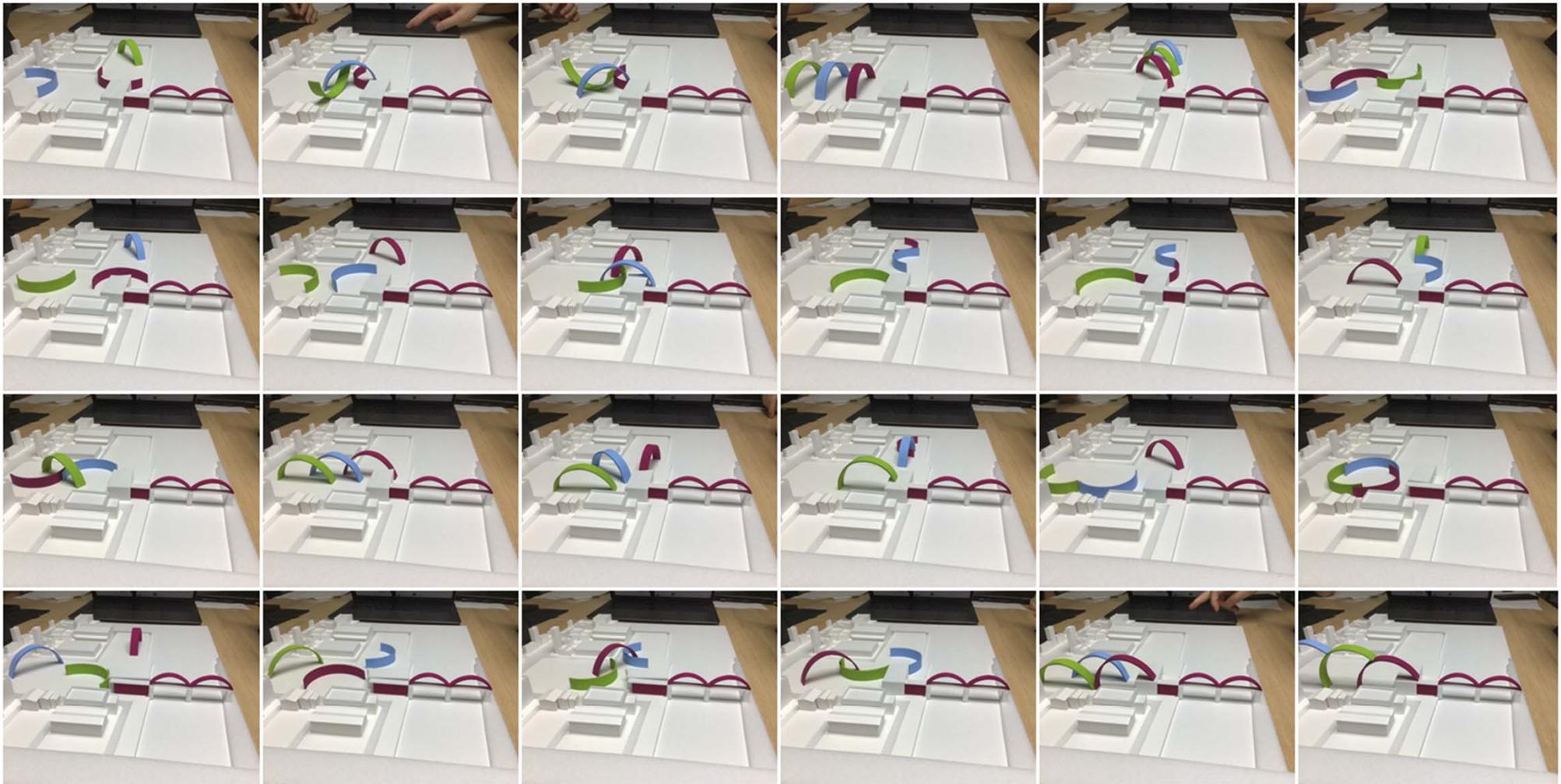


Photo Study

View Point 3

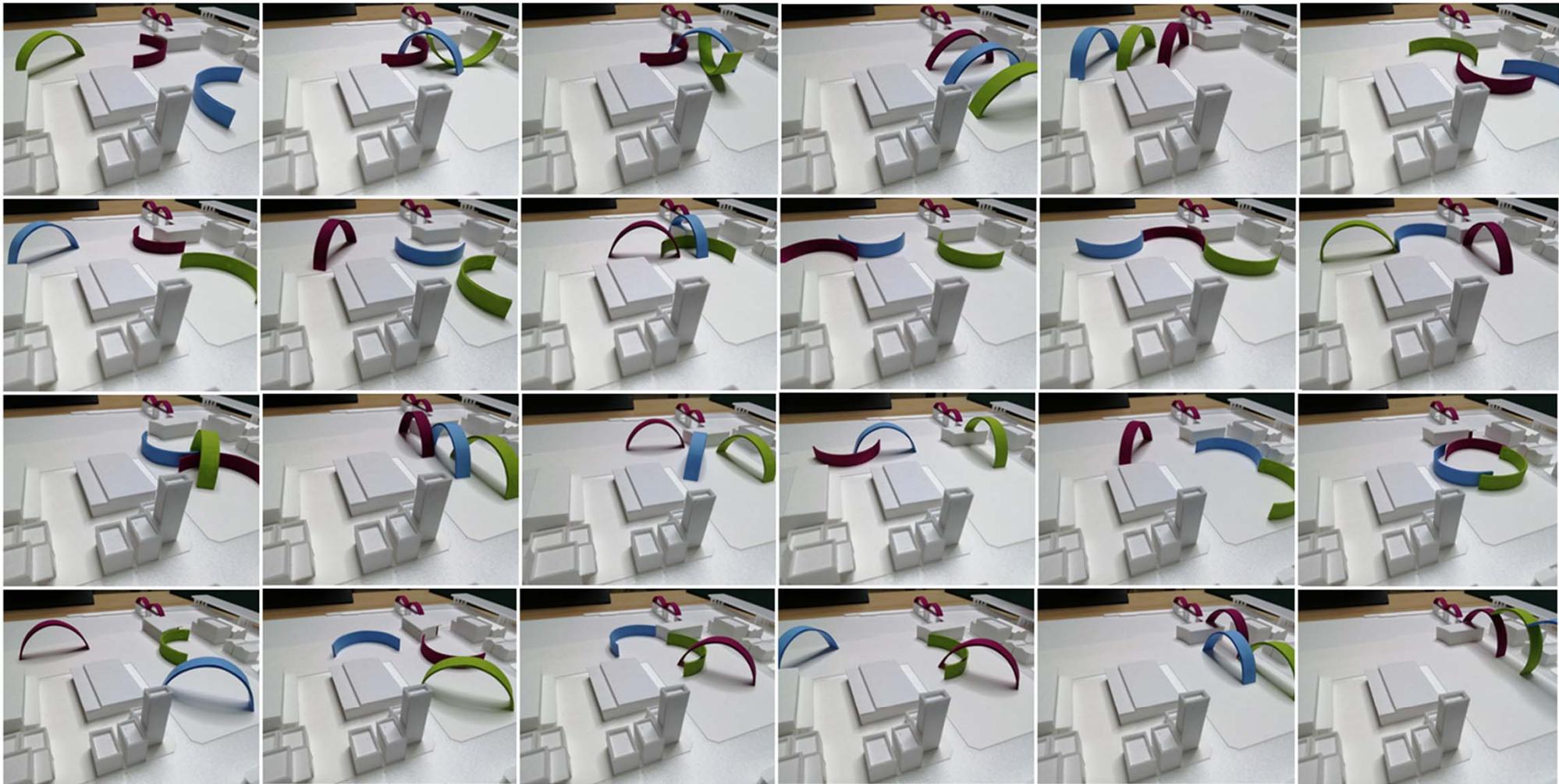
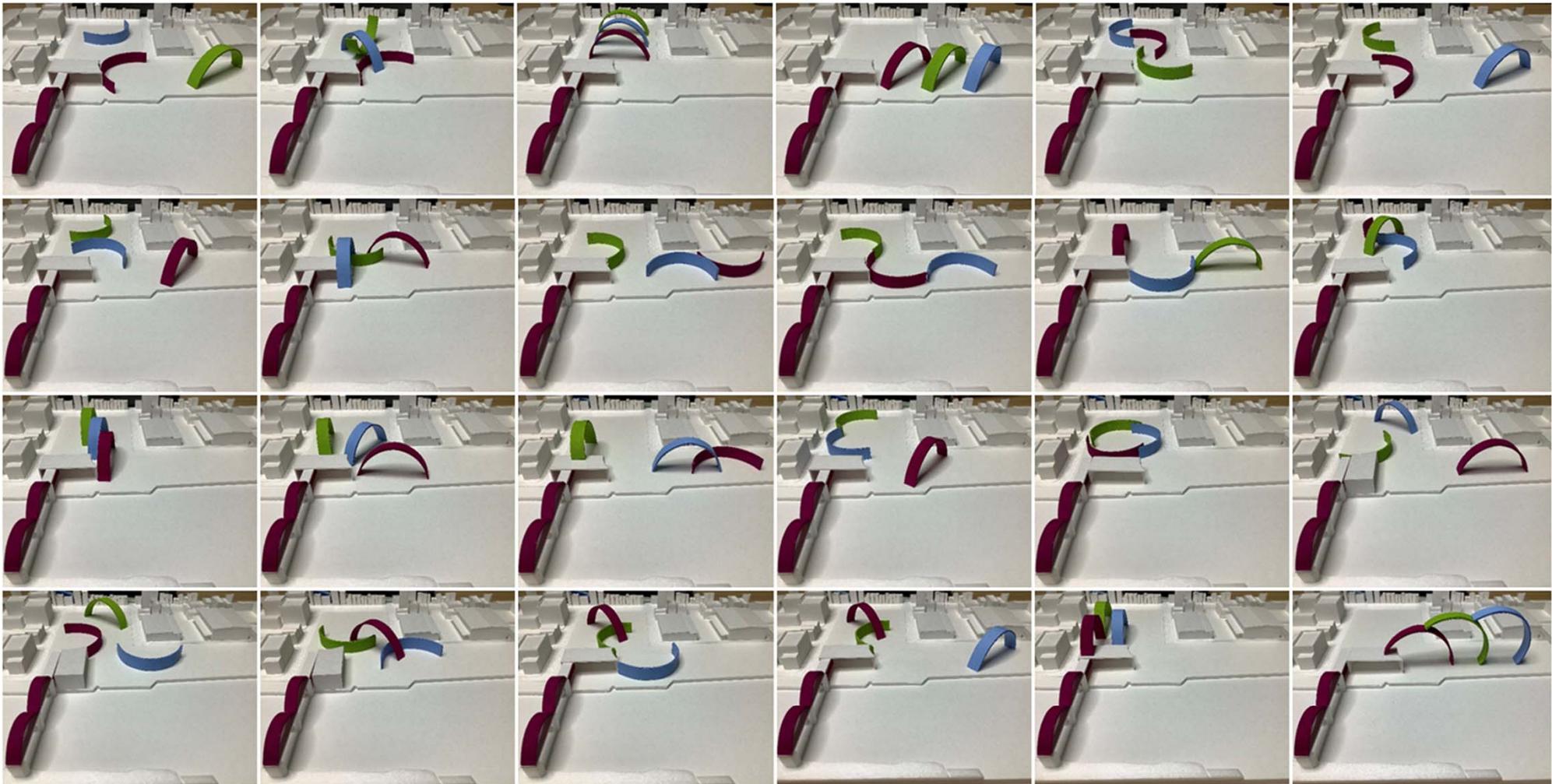


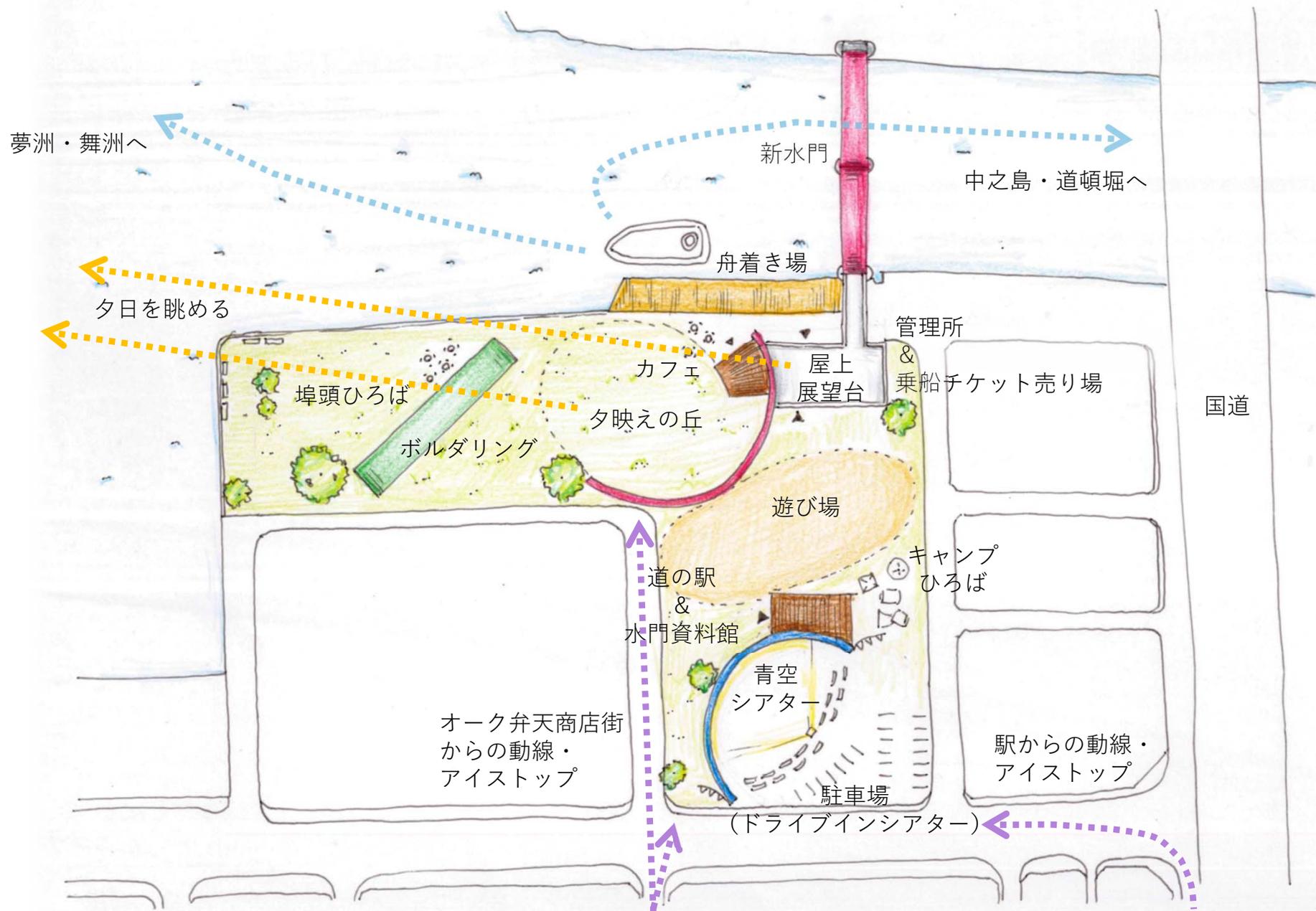
Photo Study

View Point 4



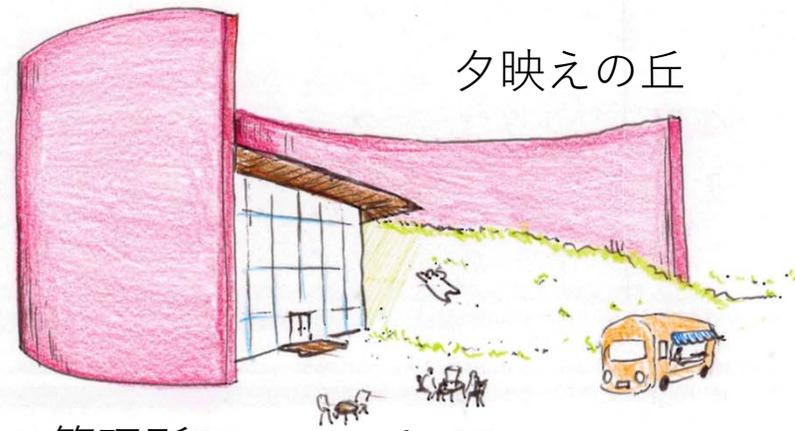
Design

みなと公園



Design

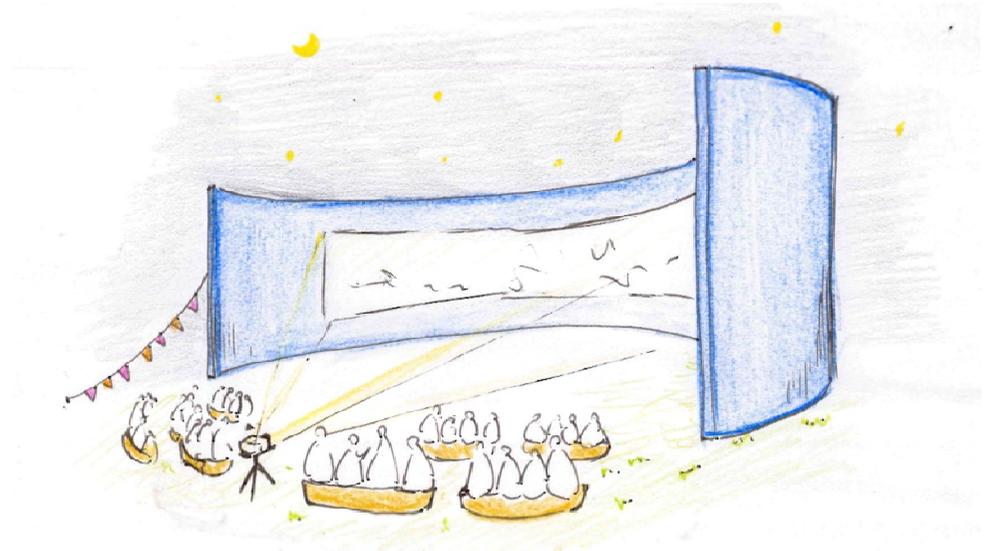
旧三大水門



夕映えの丘

管理所
カフェ

キッチンカー
休憩スペース



プロジェクションマッピング
屋外ナイトシアター



展望台

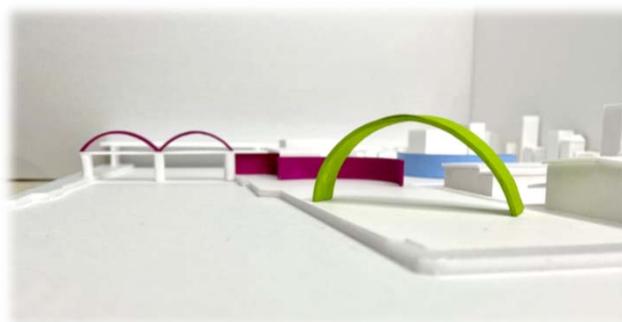
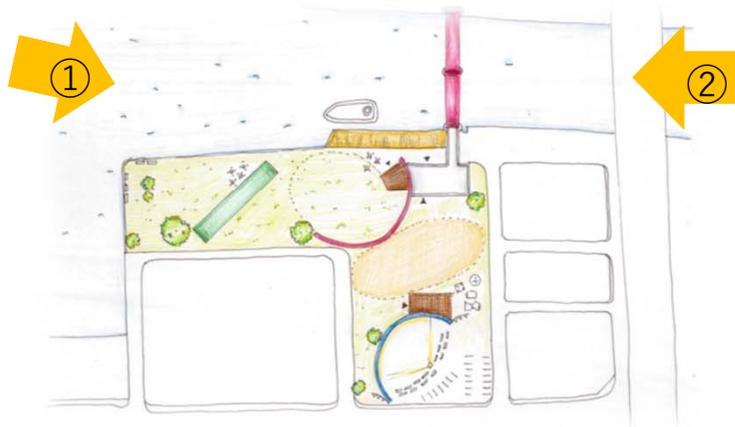
野外ボルダリング

休憩スペース

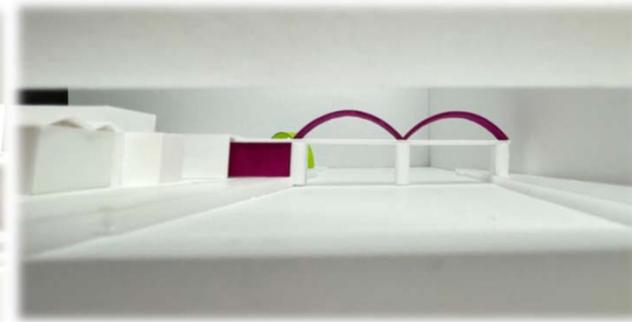
壁打ち

View

河川軸とのつながり



①市内に向かう船上からの視点



②ベイエリアに向かう船上からの視点

みなと
水門 で守り、水門 を遺すまち

みなと
港 を繋ぐなみよけのまち

みなと
水都 の風景と暮らすまち

